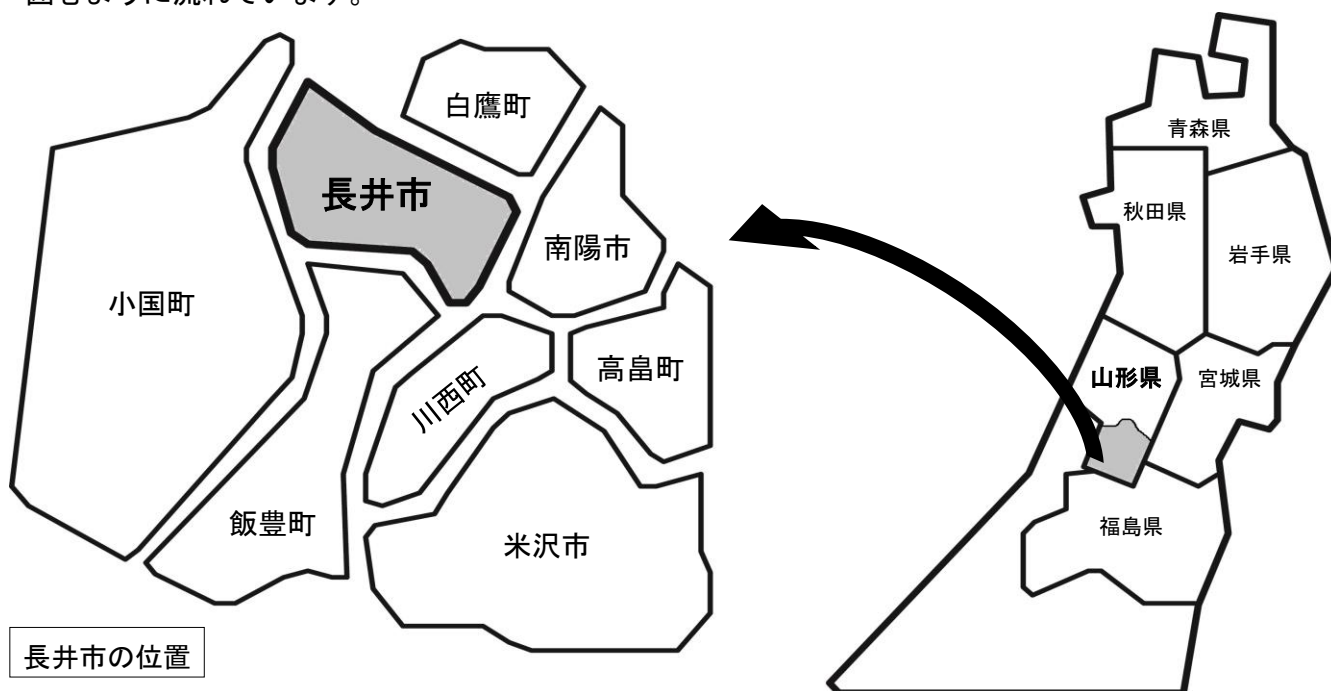


ながいのあらまし

「ながい」とは、水の集まる場所

山形県南部に位置する長井市は、西に葉山連山、東に出羽丘陵を眺める長井盆地の中にあります。四季折々に、美しい姿を見せる山々から湧き出る伏流水は、田畑を潤し、豊かな暮らしを育んできました。

「長井」の地名の由来は、「水の集まる場所」。その名が示すように、朝日山系を源とする野川、飯豊山系を源とする白川、吾妻山系を源とし、市街地を南北に貫流する最上川と、3つの河川がまちを囲むように流れています。



長井市の位置

1 長井の市勢

1 位置・面積・人口

長井市は、山形県南部の置賜地域にあります。

長井市の面積は214.67km²で、山形県内では第15位、置賜地域では第4位の広さとなっています。

平成27年度国勢調査では、人口27,757人、世帯数9,109世帯となっています。

市町名	面積 (km ²)	置賜 順位	県内 順位
置賜 地域	2,495.52	-	-
小国町	737.55	1	2
米沢市	548.74	2	4
飯豊町	329.60	3	10
長井市	214.67	4	15
高島町	180.04	5	21
川西町	166.46	6	22
南陽市	160.70	7	24
白鷹町	157.74	8	25

置賜地域市町別面積

資料：国土地理院

2 地勢

本市の西部一帯は、越後山脈の北端をなす朝日山系の険しい山岳地帯で、朝日、祝瓶などの高山がそびえており、東部は白鷹山地です。この両山地の間を南から北に最上川が貫流し、朝日山系を源とする野川が市の中央部を流れ、また、飯豊山系を源流とする白川は、市の南部で合流しています。最上川流域と野川、白川両河川の下流一帯は平地をなし、長井盆地を造っています。

3 産業

大正9年(1920)に誘致企業第一号として郡是製糸長井工場が操業を開始し、昭和17年には東芝長井工場を誘致、昭和21年には全国製薬株式会社東北工場が設立され、電子部品、デバイス、自動車部品、半導体製造装置、金属工作機械、製薬などの技術を有した近代産業のまちとして発展し、今日の電気機械工



業等の集積の礎を築きました。現在も多様な加工技術を持った企業が多くあり、難しい加工や、今までにない機械、装置の開発などに取り組んでいます。

4 市制

昭和29年11月15日、長井町、長井村、西根村、平野村、豊田村、伊佐沢村の1町5ヵ村が合併し、県下9番目の市として長井市が誕生しました。平成26年に、市制施行60周年を迎えました。「水と緑と花のまちながい」を掲げ、自然と産業の発展と調和を図り、美しいまちづくりに努めています。

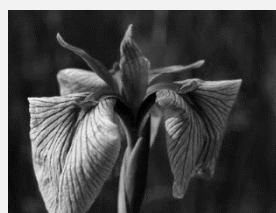


5 市章

長井市名誉市民でもある彫刻家、長沼孝三氏によって、昭和38年にデザインされました。長井の市民の花である「あやめ」をモチーフにしたもので、やわらかなデザインになっています。市内のマンホールの蓋などにも、この市章がデザインされており、長井市民にとって身近なシンボルとして親しまれています。



6 市民の花・木



【市民の花】あやめ



【推奨花】はぎ



【市民の木】つつじ



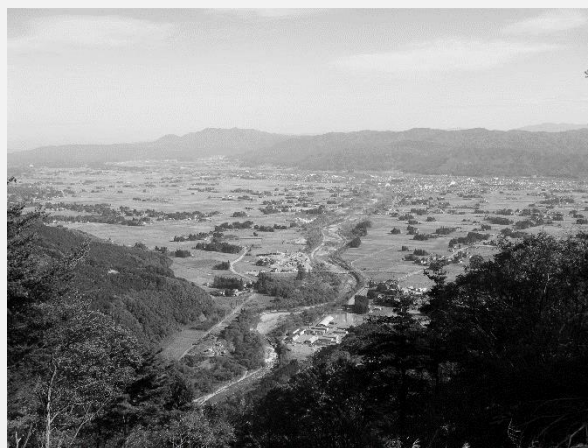
【推奨木】さくら

7 長井市民歌

昭和33年、長井市民歌が制定され、芳賀秀次郎氏の作詞、海鋒義美氏の作曲による長井市市民歌が発表されました。自然豊かな情景と、長井市民の幸せを晴れやかに歌う歌として親しまれています。

一、野川の水の澄むところ
匂う野の花 あやめ草
花の願いの つつましく
ここにいそしむ日々の業
ああ 長井 ころろひとつに
睦ゆく 市民の幸よ

二、稲穂のそよぐ 野の果てに
招く飯豊の 雲のいろ
ダムたたぎの たくましく
おこる生産 ひびく歌
ああ 長井 のぞみはるかに
栄えゆく 市民の幸よ



【熊野山から市内を望む】

2 長井の各地区

西根地区

長井市の西側、朝日山系の裾野に位置し、山のすぐ近くには畑があり、東側に田んぼが広がっています。長者屋敷遺跡などの多くの遺跡が見つかった草岡地区には、古代の丘歴史公園があります。また、国指定の天然記念物「草岡の大明神ザクラ」も有名です。

人口3,408人(平成27年国勢調査)

致芳地区

長井市の北側に位置し、フラワー長井線の線路の西側は田、東側には畑が広がっています。最上川沿いに長井北工業団地があります。

人口3,657人(平成27年国勢調査)

中央地区

長井市の中央に位置し、市役所や国・県の機関、病院、図書館など公共公益施設があり、住宅や商店などが集まっています。また、歴史的建造物や公園などがあります。

人口12,881人(平成27年国勢調査)

伊佐沢地区

長井市の東側、最上川の右岸に位置し、地区の三方向を山に囲まれ、もう一方は最上川に接し、唯一の河川、逆川が地区の中心を流れています。国の天然記念物に指定されている、「伊佐沢の久保ザクラ」が有名です。

人口1,263人(平成27年国勢調査)

平野地区

長井市の南西部に位置し、山裾に広がる平地は、朝日山系を水源とする野川の扇頂部となっています。散居集落であり、平成3年に「美しい日本の村景観100選」に選ばれました。

人口2,736人(平成27年国勢調査)

豊田地区

長井市の南部に位置し、鉄道(米坂線、フラワー長井線)と、国道(113号、287号)が交わる交通の要衝で、長井市の南玄関になっています。白川と最上川が合流するビューポイントがあります。

人口3,812人(平成27年国勢調査)



3 長井の公共施設

1 置賜生涯学習プラザ

住所：長井市九野本1235-1
TEL：0238-84-6900

健康で文化的な住民生活の向上をめざし、スポーツ、文化交流活動等活発な生涯学習活動の場として幅広く利用されており、市内外問わず多くの世代の人に親しまれています。



2 長井市民文化会館

住所：長井市館町北5-10
TEL：0238-84-6051

長井市では、市民の文化および教養の向上と福祉の増進を図るため、市民文化会館を設置しています。耐震補強と大規模改修工事のため、平成31年4月1日より休館しています。工事は令和2年夏頃完了予定です。



3 長井市立図書館

住所：長井市神明町3-7
TEL：0238-88-2535

白つつじ公園の敷地内に設置され、多くの市民に利用されています。一般書から児童書、視聴覚資料の貸出や館内での閲覧もできます。借りた本を公園で読む方も多くいます。



4 交流センターふらり

住所：長井市屋城町6-53
TEL：0238-88-5868

長井市中央コミュニティセンター、長井市勤労青少年ホーム、長井市民体育館、長井市テニスコート、長井高等職業訓練校を総称して、「交流センターふらり」とよび親しまれています。



5 長井市武道館

住所：長井市館町北5-10
TEL：0238-84-4250

生涯スポーツおよび競技スポーツの普及振興を図り、市民の健康の保持増進および豊かな生活の創出、ならびにスポーツを通じた活力あるまちづくりに寄与するため設置されています。



6 文教の杜^{もり}ながい

住所：長井市十日町一丁目11-7
TEL：0238-88-4151

文化財の保護活用および芸術文化の振興をめざし、「長沼孝三彫塑館」、かつての商家の家屋敷「旧丸大扇屋」（県指定文化財）、旧西置賜郡役所「小桜館」（市指定文化財）を活用し、今では昔語りや演奏会など多目的に利用されています。



7 古代の丘資料館

住所：長井市草岡 2768-1
TEL：0238-88-9978

市内で出土した考古資料を収集、調査研究、保存管理するとともに、それらを一般に公開しています。資料館には、遺跡から発掘された土器や石器などが展示されています。



8 野川まなび館

住所：長井市平山 2743-4
TEL：0238-87-0605

自然体験や環境学習、水循環、水文化などをテーマに交流を図る施設です。長井ダムの下流に位置しており、長井ダム水源地域へのアクセス拠点としても利用されています。



9 長井市保健センター

住所：長井市ままの上 7-10
TEL：0238-84-6822(市 健康課)

市民の健康保持、および増進を図るため、設置されています。料理教室やパパママ教室、各種検診、および予防接種など開催されており、市民の健康づくりをサポートしています。



10 道の駅川のみなと長井

住所：長井市東町 2-50
TEL：0238-87-1121

観光客・市民の出会いと地域産業の発展を促し、観光交流の拠点として重要な役割を果たす施設です。県内 20 番目の道の駅として平成 29 年 4 月 21 日にオープンしました。



11 旧長井小学校第一校舎

住所：長井市ままの上5-3
TEL：0238-87-1802

昭和 8 年に建築された全国的にも珍しい大規模な木造 2 階建ての校舎。平成 21 年に国登録有形文化財に登録されました。平成 27 年まで現役の校舎として利用され、その後、平成 31 年 4 月に「学び」と「交流」の施設「旧長井小学校第一校舎」としてリニューアルオープンしました。（なお、国の登録有形文化財の登録名称は「長井小学校第一校舎」となっていますが、本テキストにおいては「旧長井小学校第一校舎」として表記を統一しています。）



12 ラウンドアバウト（環状交差点）

住所：長井市平山地内

ラウンドアバウトは、重大事故の抑制や待ち時間の解消など様々な効果が期待できる環状交差点です。山形県内では初めての取組みであり、さらに積雪地域での運用は全国に先駆けた試みです。



13 長井市役所新庁舎

住所：長井市栄町地内

現在長井市では、まちづくりの中核である市役所と、置賜の地域交通の拠点である長井駅を一体化した、新庁舎の建設を行っています。工事は令和3年3月頃完成予定です。



～長井市役所新庁舎 工事進捗状況～



新庁舎北側から見た地盤杭打ち(2019. 11 時点)



新庁舎南側から見た根切り工事(2019. 11 時点)

4 都市との絆

1 姉妹都市

(1) ドイツ バートゼッキンゲン市

昭和59年にドイツ連邦共和国のバートゼッキンゲン市と姉妹都市の盟約を結びました。

平成18年には、長井市民文化会館でバートゼッキンゲン市を舞台としたオペラ「ゼッキンゲンのトランペット吹き」が日本初演され、片田町には「バートゼッキンゲン通り」の記念モニュメントが設置されるなど、信頼の絆を深めています。



(2) 茨城県結城市

両市の名産である紬（絹織物）が縁となり、茨城県結城市とは昭和58年に姉妹都市盟約を締結しました。

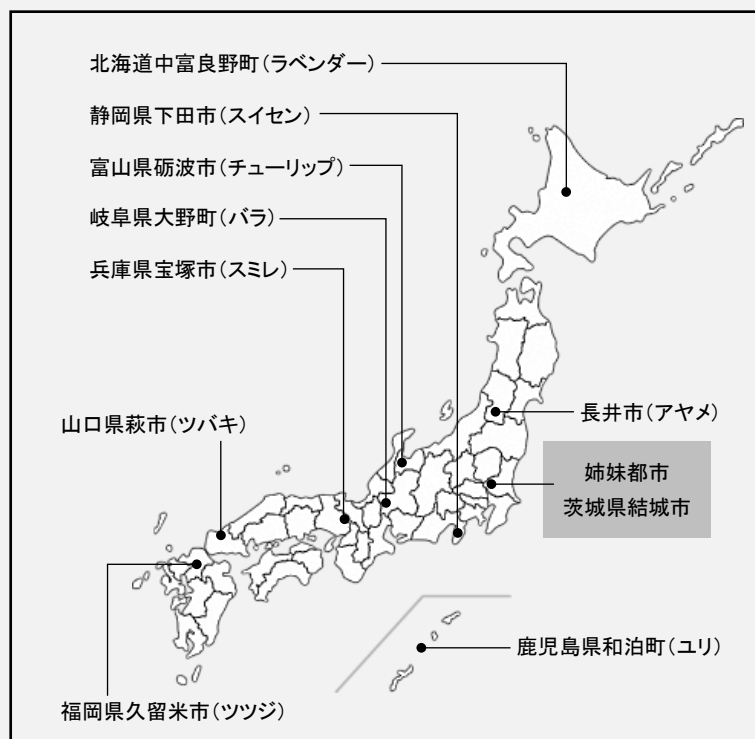
毎年、特産展を通して、交流を深めています。

2 友好都市

中国 そうおうざん 双鴨山市

平成4年に中国黒竜江省の双鴨山市と友好都市盟約を締結して、互いの行政や企業への研修員の受け入れや相互訪問、文化紹介事業などを通じて交流を深めています。

3 フラワー都市交流連絡協議会



4 あやめサミット加盟都市

北海道厚岸町、北海道長万部町
宮城県多賀城市、福島県会津美里町
福島県鏡石町、新潟県新発田市
茨城県潮来市、千葉県香取市
千葉県佐倉市、山梨県南アルプス市
静岡県伊豆の国市

5 その他

- (1) 東京都大田区
(長井市東京事務所)
- (2) 東京都江戸川区
(戦時中長井市に学童疎開した縁での交流)
- (3) 神奈川県川崎市
(「グリーンツーリズム」を通じての平野地区との交流)
- (4) 沖縄県金武町
(青少年交流を通じての伊佐沢地区との交流)
- (5) タンザニア連合共和国
(オリンピック・パラリンピックホストタウン)
- (6) リヒテンシュタイン公国
(オリンピック・パラリンピックホストタウン)